

熊本県言語聴覚士会

会報

KSTNET

第 36 号 平成 22 年 8 月 31 日発行



言語聴覚士会総会

H22 年 5 月 30 日 (日)

アークホテル熊本

熊本県言語聴覚士会総会及び



平成 22 年度総会

会長あいさつ

小菌真知子

昨年度秋に熊本県言語聴覚士会設立十周年記念行事を無事に終え、11 年目の春を迎えました。

本年度の当県士会の大きな事業として、日本言語聴覚士協会の資金支援を受けての「言語聴覚の日」があります。初めての試みですが、これまで東京で行っていた協会の行事を今年は熊本県と高知県で行うことになっています。

9 月 26 日 (日) 熊本パレア大ホールを確保しましたので、若い方々の自由な発想の楽しいイベントを期待しています。これからの社会を担う中高生にも、言語聴覚士の仕事に興味を持ってもらえるような内容でお願いしたいと思えます。

本年度はさらに会員も増えることでしょうが、いろいろな医療機関、施設の責任者からは、「言語聴覚士を採用したいけれど人がいない」という切実な声を何度も耳にします。目まぐるしく制度は変わっていきますが、言語聴覚士の求人は確実に高まってきているのです。

この原稿を書く直前に、ニュースで看護師以外の医療関連職員の「吸引の合法化」の検討についての記事を読みました。

風の中にいると、周りの風の流れは分からないものです。狭い訓練室に閉じこもっていると、自分たちがどんな環境に置かれているのかが見えなくなってしまいます。時には、自分たちの仕事を客観的に見てみましょう。また、県士会の活動にも積極的に参加してください。

私達言語聴覚士を取り巻く環境は、刻々と変わっていきます。失語症、構音障害が言語聴覚士の主な対象だった時代から、特別支援教育の必要な小児言語障害、摂食嚥下障害、認知症、高次脳機能障害全般に関する知識と技術を身に付けた言語聴覚士が必要とされています。

本年度も、会員の資質向上のために、全体の研究会の他に、こどもサポートネット、介護保険領域の講習会を開催していきます。また、日本言語聴覚士協会の生涯学習講座、専門講座も積極的に開催します。

言語聴覚士の社会的役割を広げるのは、会員一人ひとりの役割です。

本年度も、みなさんの力を発揮して言語聴覚療法の質を高めていきましょう。

「感性、感動、感謝」

先日、たまたま出かけた先で、熊本県出身の書道家「武田双雲」書展をみる機会がありました。若い人気書道家という知識くらいしかなかったのですが、その書の力強さもさることながら、入り口にたくさんの著書が並んでいるのに驚きました。書道家だけど、生き方の本をたくさん出されているのです。いろいろな本の中から「上機嫌のすすめ」を購入し、その日のうちに一気に読んでしまいました。

「自分は人を幸せにするために書を書いているのだ」という武田双雲氏。

「感性、感動、感謝」を大事にしているとの一節に、ああ、言語聴覚士もそうだよねと、自分の手帳の扉に書き付けました。言語聴覚士としての力量を磨くだけでなく、社会人としても一流の何かを持っていること、それがこれからの時代に求められることだと思えます。

生きてきた年数とその人の持つすばらしい力は別物です。長く生きてきても、とてもかなわない人が世の中にはいっぱいいます。若い人たちと勉強会をすることがありますが、教えるというよりは、それぞれの持っているエネルギーに驚かされ学ぶことの方が多い日々です。

会長 小菌真知子

ブロックだより

- 北部ブロック
荒尾・玉名・山鹿・鹿本
- 東部ブロック
菊池・阿蘇
- 中部ブロック
熊本
- 南部ブロック
益城・八代・人吉・球磨・水俣
- 西部ブロック
宇土・天草



[北部ブロック報告]

北部ブロック会ではブロック長の交代もあり、活動を十分に行えず、会員の皆様にはご迷惑をお掛けいたしました。8月7日に熊本駅前看護リハビリテーション学院にて「なるほど！失語症の評価と治療～症例ビデオを用いて演習で学ぶ～」をテーマに講演会を実施いたします。今回は、小嶋知幸先生と共同で、金原出版より「なるほど！失語症の評価と治療 検査結果の解釈から訓練法の立案まで」を、執筆、発刊されました菊南病院の大塚裕一先生、宮本恵美先生から御講演いただきます。今後は年度内に2回程度の勉強会を予定しております。

青磁野リハビリテーション病院 野田和宏

[東部ブロック報告]

7月27日に熊本リハビリテーション病院にて、「失語症」をテーマに東部ブロック勉強会を開催しました。

①「実用コミュニケーション促進法を用いて表出を促した1症例」

熊本リハビリテーション病院 清久 翔

②「視野障害を伴う失語症例について」

武蔵ヶ丘病院 村上 聡子先生

③「この方法なら伝わる！」～パーソナリティを考慮したAACの作成と活用場面の拡大～

くまもと成仁病院 内田 智香先生

④「転落による脳挫傷で重度失語症を呈した1症例」

熊本リハビリテーション病院 木下 純子

失語症の他に合併症があるため難渋する評価や訓練について、臨床における相談や助言を交えた意見交換が行われました。また、失語症者へのAACに対する柔軟な考え方や、失語症者の復職支援など退院後の在宅生活・社会復帰支援の取り組みについて聴くことができ、有意義な勉強会となりました。

次回の勉強会は嚥下障害をテーマに、11月開催予定です。

熊本リハビリテーション病院 中瀬洋昭

[中部ブロック報告]

中部ブロックでは、8月2日にブロック勉強会と茶話会を開催し、症例報告と本年度の活動方針の確認を行いました。

次回の勉強会の日程は未定ですが、講師を招き特別講義を行いたいと考えております。中部ブロックの会員には、日程が決定次第メールにて連絡をしたいと思います。

御幸病院 林亜星

[南部ブロック報告]

南部ブロックでは、6月26日に金森病院で勉強会を行いました。金森病院あさひコートの永浜先生と村井先生に、金森会でのSTの活動についてご報告していただきました。地域リハビリテーションへの取り組みについてや、その中で行われた勉強会の資料を交えてご報告いただきました。また、金森会で提供されている食事の試食も準備されており、「かゆゼリー」「ムース食」「ミキサー固め」などの食形態の食事を試食させていただきました。試食について質問が出ていました。参加者は16名でした。

今回は9月に宇賀病院の担当で勉強会を予定しています。

熊本県子ども総合療育センター 森田朋子

[西部ブロック報告]

ブロック勉強会

「失語症の症例検討会」

発表：済生会みすみ病院 伊藤 真樹先生

場所：メディカル・カレッジ青照館

時間：19時半～

楽洋の里 池田 聖司

事業部活動予定

1、熊本市健康フェスティバル

日時：平成22年10月30日（土）：9:30～16:30

31日（日）10:00～16:30

会場：鶴屋東館パレアー帯（STブースは7階です）

内容：言葉と聞こえの相談、聴力検査、頭の体操

担当は中部ブロックとなります。大変とは思いますが協力のほど宜しくお願いします。

2、玉名市健康食育福祉フェア

日時：平成22年11月14日（日）：9:30～14:00

会場：九州看護福祉大学

内容：言葉と聞こえの相談、脳力チェック

事業部部長 悠紀会病院 山本 恵仙

書籍紹介



【症状でみる子どものプライマリケア】

著：加藤 英治

発行年月：2010年09月

定価 4,200円（本体4,000円）

出版社：医学書院

（内容）

初期研修医・若手小児科医・家庭医など子どもにかかわるすべての医師にむけ、臨床で活躍するベテラン小児科医が子どもの診断・治療のポイントを伝授。豊富な症例写真（170点）と、あくまで臨床でよくみる症状に絞った解説が特徴。講義調の語り口で、コミディカル、医学生・看護学生はもちろん保護者の方にも理解しやすいよう工夫されている。



- ・【PT・OTのための脳画像のみかたと神経所見】
【CD-ROM付】 第2版

発行年月：2010年8月

定価：5200円

出版社：医学書院

(内容)

脳血管障害、頭部外傷、頭蓋内腫瘍のなかでも特にPT・OT・STがかかわることの多い脳血管障害を重点的に取り上げた自学自習書の改訂第2版。学生や若手セラピストの方々が画像の読影力を養い、脳内の変化と症状の関連を理解することを目的とし、CD-ROMによる画像問題演習を重視した初版をさらに使いやすく再構成した一冊である。

理事会議事録



第2回理事会

日時：平成22年7月2日(金)

場所：菊南病院

出席：小菌、三浦、丸内、下田、池田(聖)、池田(健)、陣内、森崎、後藤、平ノ上、森田、吉松、山本(恵)、兼田、野田、林、大塚、宮本

書記：宮本

1. 報告事項

- 1) 全国日本語聴覚士協会 会議報告
全国的に協力体制はできてきている。
もう少し全国の統一を図りたい
法人化されて順調に進んでいる

学会開催地→来年度は福島県 再来年度は福岡県

学会日時→金土曜演題報告 日曜日 生涯学習基礎講座専門講座

- 2) 医保福および医専連報告
会長 福田病院 福田先生

医専連

パールラインマラソンの協力はやめるとのこと

健康フェスティバルについては今までどおり

3) NST 世話人会会議

第14回熊本NST研究会世話人会

日時：2010年6月12日(土)

14:00~14:30

場所：済生会熊本病院外来がん治療センター4階 会議室

内容：①会計監査報告

②世話人追加・名簿更新

③第15回研究会運営について

④第16回研究会の当番世話人の選定

<第15回研究会運営について>

水俣市立総合医療センター

管理栄養士 山下茂子先生

第15回3合同 学術講演会・情報交換会企画

・症例検討会(来年以降)

・栄養サポートチーム加算取得病院の取り組み状況の発表(次回)

*次回開催予定日

平成22年12月の第1週目か第2週目の日曜日

2. 検討事項

1) 会長

言語聴覚士会啓発活動について

熊本日日新聞社→リハビリの啓発活動

2) 事務局

<総会報告>大塚理事

出席 約160名

懇親会 約60名

* 総会への新人さんの参加が少なかった
→周囲の人に参加していただけるようお願いをしてもらう

* 懇親会の形態がテーブルだったので移動しにくかった

<第4回 言語聴覚の日>

日時：平成22年9月26日(日)

13:30~16:30(会場13時~)

場所：熊本県民交流会館 パレア 10階

参加費無料

内容：講演会「コミュニケーション：栄太郎談義」

座談会「言語聴覚士って?~栄太郎が斬る!」

テーマ：「笑顔のコミュニケーション あなたの幸せって何ですか?」

- ・ 新人の方を中心に委員を構成している
言語聴覚の日 委員構成メンバー
山本 ST(悠紀会病院) 木浦 ST(東野病院) 小嶋 ST(東野病院)
清田 ST(熊本市立植木病院) 竹谷 ST(熊本機能病院)
清久 ST(熊本リハビリテーション病院)
竹田 ST(八代敬仁病院)
村尾 ST(悠紀会病院) 他

- ・ 当日配るクリアファイル代について
- ・ 広報→ポスター・チラシよりも熊日、リビング熊本、市政だより、などに掲載してはどうか
→チラシ 1000枚 は配る。ポスターは作成しない。

<シティ FM の件>

8月18日(水)

山本 恵仙 先生

内容「言語聴覚の日」広報

*7月16日締め切り

3) 事業部 山本(恵) 理事

6月18日 健康フェスティバル会議出席

* 次回会議 7月12日

熊本市民健康フェスティバル

場所：パレア7階

日時：平成22年10月30日(土)31日(日)

内容：頭の体操 ことばと聞こえの相談
聴力検査 他

3. その他

各ブロック報告

<北部ブロック> (野田ブロック長)

- ・ 北部ブロック講演会予定 講師：大塚理事他

日時：平成22年8月7日(土)

19時00分~21時30分

場所：熊本駅前看護リハビリテーション学院
階段教室

参加費：会員(事前登録)100円,

会員(当日受付)200円

非会員500円

学生 無料

- ・ 11月及び3月に勉強会・相談会予定

1月 新年会

<南部ブロック> (森田理事)

6月 勉強会 金森病院 「嚥下食について」

9月 勉強会予定

<西部ブロック> (池田理事)

8月 済生会三角病院 勉強会

<東部ブロック> (池田副ブロック長)

失語症・嚥下障害・高次脳機能障害の勉強会を行う

<中央ブロック> (林理事)

健康フェスティバルの協力

7月 勉強会 御幸病院

研修会実施予定

各部局報告

<学術研究部> (下田理事)

日時：平成22年7月25日(日)

場所：熊本保健科学大学

参加費：会員(事前登録)1000円, 会員(当日受付)および非会員 1500円

受付：12時30分

開演：13時00分

(13時05分~ 特別講演, 15時15分~ 一般演題発表, 17時00分閉演予定)

特別講演

中川賀嗣先生

(北海道医療大学 看護福祉学部 教授)

「失行のみかた、とらえ方-基本的症候を踏まえながら-

<渉外部> (池田理事)

研修会案内

<保険部> (三浦理事)

各部局へ予算配布

<広報部> (平ノ上理事)

松橋・阿蘇など部員の出身校への広報活動

<その他>

・熊本市の療育ネットワーク会議について (下田理事)

熊本市の事業

2年間会議に出席できる理事を選出→陣内理事へ

・訪問リハ研究会報告 (森崎理事)

・全国の訪問リハ研修会の案内 (小菌会長)

・小児指導者連絡会 子どもサポートネット合同研修会について (丸内副会長)

日時：8月28日 (土) 15～17時

場所：熊本駅前看護リハビリテーション学院

階段教室 参加費無料 会員外 500円

(テーマ)

「コミュニケーションが苦手な子どもに対する支援」

講師 中村 公枝 先生

・提案事項

天草へ小児治療のために、県士会で言語聴覚士の派遣を検討してはどうか (丸内副会長)

次回 理事会 平成22年 10月8日 (金)

発行：熊本県言語聴覚士会

事務局：菊南病院 (TEL096-344-1711)

〒861-5513 熊本市鶴羽田町 685

広報部：宇賀岳病院 (TEL0964-32-3111)

部長：平ノ上 隆康

編集：メディカル・カレッジ青照館

(TEL0964-54-2211)

編集責任者：小堀 晶弘